



基本方針

●高齡化による耕作放棄地の解消や農作業受委託の構築に努めます。

弘前市担い手育成総合支援協議会と連携し、農地情報の把握と共有、農地と非農地の仕分け、新規就農者のフォローアップ、放棄地のマップ作成等を進めており、今後、耕作放棄地を再生する場合、国・弘前市等の補助事業を活用し解消に向けて取り組んで行く計画だ。

次世代を育み組合員と共に築く豊かな暮らしを実現



スカイテック

SSの請負防除や、ラジヘリの融雪剤散布で作業軽減。

特に農作業受委託については、薬剤散布・剪定作業・草刈・運搬等について重点的に取り組んで行く所存だ。

●農作業の軽減につながる新たな栽培方法の導入・普及に努めます。

支柱のいらぬワイ化として「インターストック」の導入・普及で、品質向上と上実収穫数量アップに期待。第三の栽培方法として注目され、改植後は早期収穫

可能。さらに、高品質生産で製品化率が高い。

●高齡者でも栽培でき、金になる作物への取組などを考案してまいります。

高齡化向けとなると、重労働・機械作業等が厳しいことから、作目については、十分検討が必要と思われる。品種更新については、早生ふじ及び中生種について市場関係者・生産者・販売課を含め今後検討が必要と考えている。



インターストック (H. T. S)

支柱のいらぬワイ化。丸葉台とりんご品種の中間に「わい性台穂木」を入れることで品質向上。



SS専用人工授粉機

フルーツパウダーで作業時間の大幅短縮。

GAP導入による飛馬ブランドの確立